

(別紙様式例2)

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表【事業者用】

この評価表は、児童発達支援センター、児童発達支援事業所又は放課後等デイサービス事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			パーティション等で工夫をし、個別指導に必要なスペースを確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4			
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	4			スロープ・トイレを広めに取り付けているが、今後必要に応じて配慮していく。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	4			トレーニングとの間で使用したスリッパ等の消毒・除菌などの徹底。 教室内の整頓も常時意識している。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			月次会議を行い目標設定・振り返り・検討・更新を行う。
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			アンケートの集計結果を真摯に受け止め教室向上に努めている。
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1		ホームページにて公開予定。
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	2	外部評価の実施はないが、保護者様アンケートによる評価を対象に業務改善を行っていく。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			毎月行っており、外部研修にも参加している。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	2	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	4			
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	2		2	小集団活動も視野に入れており、利用者様の希望に応じて取り入れていく。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	4			
	5	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2		2	適宜行っている。変わった様子等が見られた場合には情報共有をし立案に繋げていく。 考案を作成するうえで、必要とされる知識・工夫点などの助言がより他職員のスキルアップにつながるよう改善していく。
	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			実施した内容を把握し、立案している。 固定化しないように、情報共有をし必要な療育を取り入れられるよう職員間で確認をしている。
	7	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	1	1	休日のみ・長期休業のみのスポット利用の対応をしている。 子どもの利用状況や様子に応じてより良い支援が行えるようにしていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
	8	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1		トレーニングの考案を立てる前に必要な療育内容の確認をしている。
適切な支援の提供（続き）	9	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1		
	10	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			他者から見ても読みやすいように意識しながら記録している。またその内容から支援の仕方について検証・改善を行っている。 正しく記録を取り共有することで療育に取り入れトレーニングに繋げている。
	11	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			
関係機関や保護者との連携	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか				対象となる支援の実施は無し。
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				対象となる支援の実施は無し。
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか		4		幼稚園・小学校など直接の情報共有の実施は行っていないが利用者様を通じて相互の情報をお知らせいただく工夫をしている。 保護者様を通じて情報共有を行い対応している。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	2	2		卒業生が出た際には適宜情報提供を行う。 今後、障害福祉サービス事業所への移行する利用者が出た際には適切な連携が図れるようにしていく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			積極的に研修等の参加をしている。 今後も必要に応じて行っていく。 専門的な知識を習得し、支援に繋げられるよう積極的に研修へ参加する。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか			3	1 今後活動が出来るよう尽力していく。
	8	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			2	2 地域住民を招待し避難訓練を行ったり、研修などを行えるよう対応を提案していく。
保護者への説明責任等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約の際に運営規定並びに支援内容・利用者負担についての説明を実施している。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	4			個別支援計画の説明の徹底をし、内容承知の上、署名捺印を頂いている。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4			保護者の育児に関するストレスや不安が軽減されるようペアレントトレーニングに関する専門的なスキルを高めていく。 保護者様の表情や様子を注意深く観察し行っていく。
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			ご利用時に保護者様と話をする時間を設けお子さまの情報共有を常に行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			相談しやすい関係性や環境を整えていく。ご相談内容に対して適切な助言が出来るよう常に情報収集を心がけている。
保護者への説明責任等（続き）	6	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	1	保護者様からの意見を頂戴し、保護者会開催希望があった際は開催できるよう尽力していく。
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			相談・苦情窓口の設置を周知いただけるよう契約時に紹介している。相談・苦情が
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1		情報を伝える際に分かりやすい言葉で、明確な説明を心がけている。
	9	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	1	1	SNS等を利用し、活動内容や研修についての情報発信を行っている。今後はホームページなども活用していく
	10	個人情報に十分注意しているか	4			今後取り扱いには十分配慮していく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			普段の生活の中でも地震が発生した場合には身を守る行動を行ったあとで、災害について伝えていく。
	3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			毎月職員研修を行い、虐待防止研修についても年2回行えるようにしている。
	4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			身体拘束禁止宣言とともに意識向上のための研修を行っている。
	5	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2		食事提供支援を行っていないため、食物アレルギーについてはご家庭の判断で共有いただいている。
	6	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			ヒヤリハット事案が生じた場合には原因等を考え速やかに作成し事故発生防止に努めている。ヒヤリハットを共有することで同じ事故につながらないようにしている。